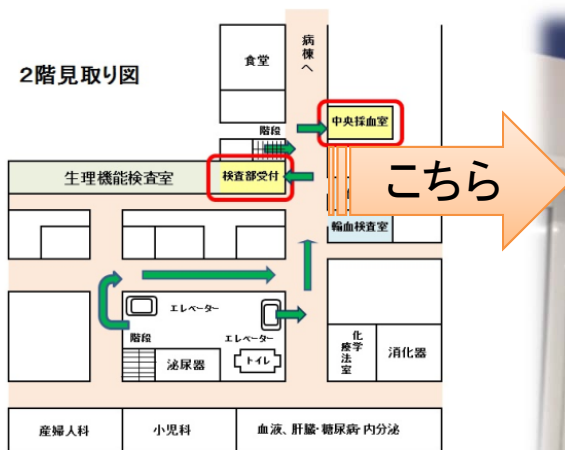


検査を受けられる患者さんへ

- ◆ 検査予約のある方は1階の再来受付を済ませた後、中央診療棟2階検査部受付へお越しください。
- ◆ 検査内容により、それぞれの部屋へご案内します。
- ◆ 原則として予約時間通りに検査を行いますが、検査内容や緊急検査等の状況で順番は前後することがあります。
- ◆ ご不明な点等ございましたら、遠慮なくお近くのスタッフにお尋ねください。

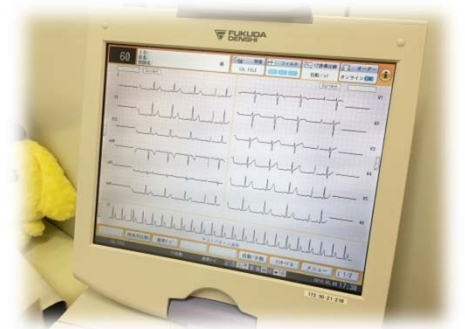


心電図 (所要時間 5～15分)

心電図とは、心臓の電気的な活動を波形として記録することで、心疾患（不整脈、虚血性心疾患など）の診断や治療に役立てるものです。

当検査室では、患者さんごとに使い捨てシールを使用しています。肌が弱い方はあらかじめお知らせください。

脱ぎ着しやすい、締め付けのない服装でお越しください。



ホルター心電図 (所要時間 15～20分)

ホルター心電図とは、日常生活での心電図を24時間にわたって記録する検査です。通常的心電図ではわからない心疾患を検出できます。胸にシール電極を貼り付け、それに小型の機器をつなぎます。また検査中は行動や自覚症状について記載していただきます。

お風呂やプール等はできませんが、それ以外は普段と変わらない生活をしてください。

原則として、取り付け翌日に機器の取り外しのために来院していただく必要があります。



運動負荷心電図

運動負荷心電図検査は、運動をして心電図を測定することで、安静時ではわからない虚血性心疾患や不整脈の有無を調べます。

検査の際は運動しやすい服装でお越しください。

マスター2階段運動負荷試験 (所要時間 20～30分)

凸型の階段を昇降し、その前後で心電図検査を行います。

年齢・性別・体重に応じた回数を1分半または3分、4分半で昇降運動を行います。

検査中に自覚症状の出現や下肢疲労があれば、昇降を中止し心電図を記録します。



トレッドミル運動負荷試験 (所要時間 30～45分)

速度と傾斜が変わるベルトの上を歩行しながら、心電図検査を行います。同時に血圧も測ります。

段階的に速度や傾斜を増やし、目標心拍数に到達するまで、もしくは自覚症状の出現や心電図・血圧の変化があれば運動を終了し、心電図を記録します。



エルゴメータ運動負荷試験 (所要時間 30～45分)

固定式の自転車をこぎながら、心電図検査を行います。同時に血圧も測ります。

段階的にペダルの重さを増やし、目標心拍数に到達するまで、もしくは自覚症状の出現や心電図・血圧の変化があれば運動を終了し、心電図を記録します。



血圧脈波検査 (所要時間 20～30分)

「血管の硬さ」

脈波伝搬速度 (Pulse Wave Velocity;PWV)

心臓足首血管指数 (Cardio Ankle Vascular Index;CAVI)

「血管の詰まり」

足関節上腕血圧比 (Ankle Brachial pressure Index;ABI)

の2つを測定します。

両腕と両足首の血圧と脈波、および心電図と心音図を記録します。

脱ぎ着しやすい、締め付けのない服装でお越しください。

また、血圧を測らないよう医師から指導されている方はお知らせください。



呼吸機能検査

(所要時間 15~30分)

呼吸機能検査は、掛け声に合わせて口で大きく息を吸ったり吐いたり、勢いよく息を吸ったり吐いたりする検査です。

呼吸が楽にできる服装でお越しください。きつく締め付ける下着やベルト、ネクタイ等ははずしてもらうこともあります。

検査の内容や種類によって所要時間が大きく変わります。



6分間歩行試験

(所要時間 20~30分)

この検査は、30メートルの直線距離を往復してもらい、6分間に歩ける距離と血液中の酸素飽和度の変化、終了後の回復時間等を調べる検査です。

歩きやすい服装、靴でお越しください。



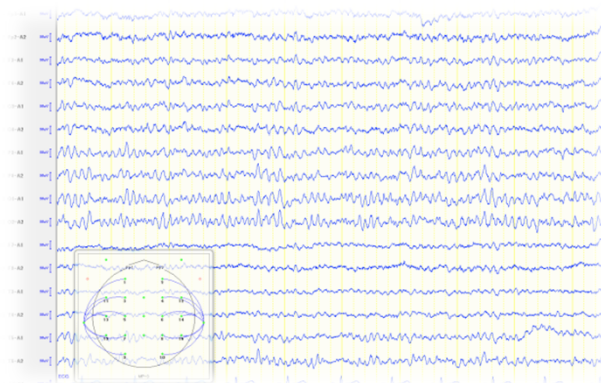
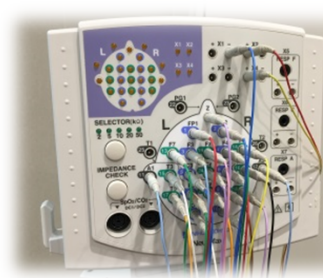
脳波検査

脳が活動する際に脳の中で微弱な電気が発生します。脳波検査はその電氣的な変化を波形として記録し、脳の働きを調べる検査です。

頭皮上に電極を装着するため、できるだけ検査前日は洗髪し、当日は整髪料などは付けないでお越しください。

測定時間は約30分、電極の装着などの準備を含めると約1時間かかります。

検査中は身動きが取れませんので、トイレは事前にお済ませください。



* 誘発睡眠脳波

小さなお子様や協力が得られにくい患者さんなどの場合、睡眠導入剤（眠たくなるお薬）を用いて、眠った状態で検査を行います。

入眠するまでには少しお時間がかかりますので、検査の予約時間より遅くても30分前にはお越しください。

検査前夜は過眠にならないように、また当日もお昼寝は控えるようにお願いします。

新生児聴覚検査

(所要時間 15~30分)

先天性の難聴がないかを調べるための検査です。

両耳に装着したイヤホンから小さな音を出し、その音に対する脳の反応をみます。

当検査部では新生児~6カ月までの赤ちゃんを対象としています。

検査の準備として、おでこや肩の辺りをガーゼで軽く清拭しますが、検査中の痛みはなく安全な検査です。赤ちゃんが眠っている間に終了します。



超音波検査

検査する部位にゼリーを塗布し、プローブという専用の機器を直にあてて検査を行います。被爆がなく、ほとんど痛みを伴わない安全な検査です。

心臓超音波検査

(所要時間 20~40分)

心臓の機能を調べる検査です。主に心臓の大きさや心筋の厚さ、動き、血液の流れを観察します。

心筋梗塞などの虚血性心疾患や、心筋症、弁膜症等の診断および経過観察のために行います。

食事や服薬の影響はありません。脱ぎ着のしやすい服装でお越しください。



上下肢血管超音波検査

(所要時間 30~60分)

血管超音波検査は上肢（腕）や下肢（脚）の動脈や静脈を対象とした検査です。主に深部静脈の血栓や、動脈硬化の有無を判定します。

検査の際は上肢であれば上の服を、下肢であればズボンやストッキングを脱いでいただく必要があります。脱ぎ着のしやすい服装でお越しください。

食事や服薬の影響はありません。

腎動脈超音波検査

(所要時間 30～60分)

腎動脈超音波検査は、薬の効きにくい高血圧、若年の高血圧の原因といわれている腎動脈が狭くなっていないかを観察する検査です。

腹部の非常に細い血管を観察するため、原則絶食での検査となりますが、医師の指示に従ってください。

腹部超音波検査

(所要時間 20～30分)

腹部超音波検査では、肝臓、胆のう、すい臓、脾臓、腎臓などの臓器を観察します。

腹部超音波検査は食事の影響を大きく受けます。
午前予約の方は前日の夕食を早めに済ませ当日は絶食、
午後予約の方は朝食を早めに済ませ昼は絶食をお願いします。

服薬は可能ですが、お水かお茶をお願いします。乳製品（牛乳など）は厳禁です。

可能な範囲で、トイレ（排尿）は検査終了までお待ちください。



体表超音波検査

(所要時間 20～30分)

体表超音波検査は、甲状腺や首の血管などの頸部、手足や体幹、乳腺など、体表面に位置する臓器の病変を検索する検査です。

検査部位にもよりますが、脱ぎ着のしやすい服装でお越しください。